

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握 センター方式導入にむけて、勉強会を充実し、導入を実現させる。	これまで以上に利用者の思いや意向の把握に努める。	生活相談員を中心にC-1-2シートについて、勉強中である。スタッフがセンター方式を理解できた時に、導入する予定である。	12ヶ月
2	26	チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画の見直し、作成についての話し合いの場に、ご家族や利用者の積極的な参加を促す。	利用者がその人らしく暮らし続けることができるように支援する。	面会や支払い等で家族が来所された時に、利用者や家族からの要望や意見を聞き、介護計画の見直しやモニタリングにいかす。	12ヶ月
3	40	食事を楽しむことのできる支援 職員の提案で材料の買い物から、利用者と一緒に食事の準備をすることを計画しているが、実現し、継続して実施すること。	食事が楽しみなものになるように支援をする。	利用者と意見交換して、実現に向けて話し合っている。一人ひとりの好みや持っている力を活かした取り組みを計画している。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。